

Title	東京歯科大学リカレント教育セミナー「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋～「顎骨疾患プロジェクト」と臨床医との医療情報交換～ 6 歯周組織再生療法の役割
Author(s)	二階堂, 雅彦
Journal	歯科学報, 122(4): 447-447
URL	http://hdl.handle.net/10130/6048
Right	
Description	

東京歯科大学リカレント教育セミナー
 「歯周病」をめぐる基礎と臨床の架け橋
 ～「顎骨疾患プロジェクト」と臨床医との医療情報交換～ 6

歯周組織再生療法の役割

二階堂歯科医院院長

東京歯科大学水道橋病院臨床教授 二階堂雅彦

歯周病により失われた歯周組織を再生する歯周組織再生療法はすでに臨床に定着して久しい。1960年代後半、自家骨移植から始まった再生療法は、その後GTR法、エナメルマトリックス・デリバティブ（エムドゲイン）の応用と展開し、今世紀に入ると、2005年よりアメリカで、また2016年よりはわが国で「サイトカイン療法」とも称される、成長因子製剤を用いた歯周組織再生療法が開発、臨床応用されている。

本セミナーの前半部では、歯周病の発症と進行におけるサイトカインの役割が基礎歯科医学の先生方から述べられる。また歯周治療においてもサイトカインを応用する時代となった今日、換言すればサイトカインをいかにコントロールするかが歯周病治療には重要であるということになる。

私のパートでは歯周治療におけるサイトカイン療法の実績を過去の症例から述べさせていただき、また病因論をどう治療に活かすべきかを一臨床医の立場から考察していきたい。

《プロフィール》



＜略歴＞

1981年 東京歯科大学卒業
 1981-84年 同歯科麻酔学教室助手
 1994-97年 タフツ大学歯学部歯周病学大学院
 2003年 アメリカ歯周病学ボード専門医
 2006年～ 東京歯科大学臨床教授
 2008-21年 東京医科歯科大学歯周病学分野非常勤講師
 2015-17年 特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会理事
 現在 医療法人社団嚙矢会 二階堂歯科医院（東京都中央区）